

# NotebookLM スライド生成機能

アップロードしたソース（PDF、ドキュメント、URL）のみを情報源とし、信頼性の高いプレゼンテーションを自動生成。

## Key Capabilities



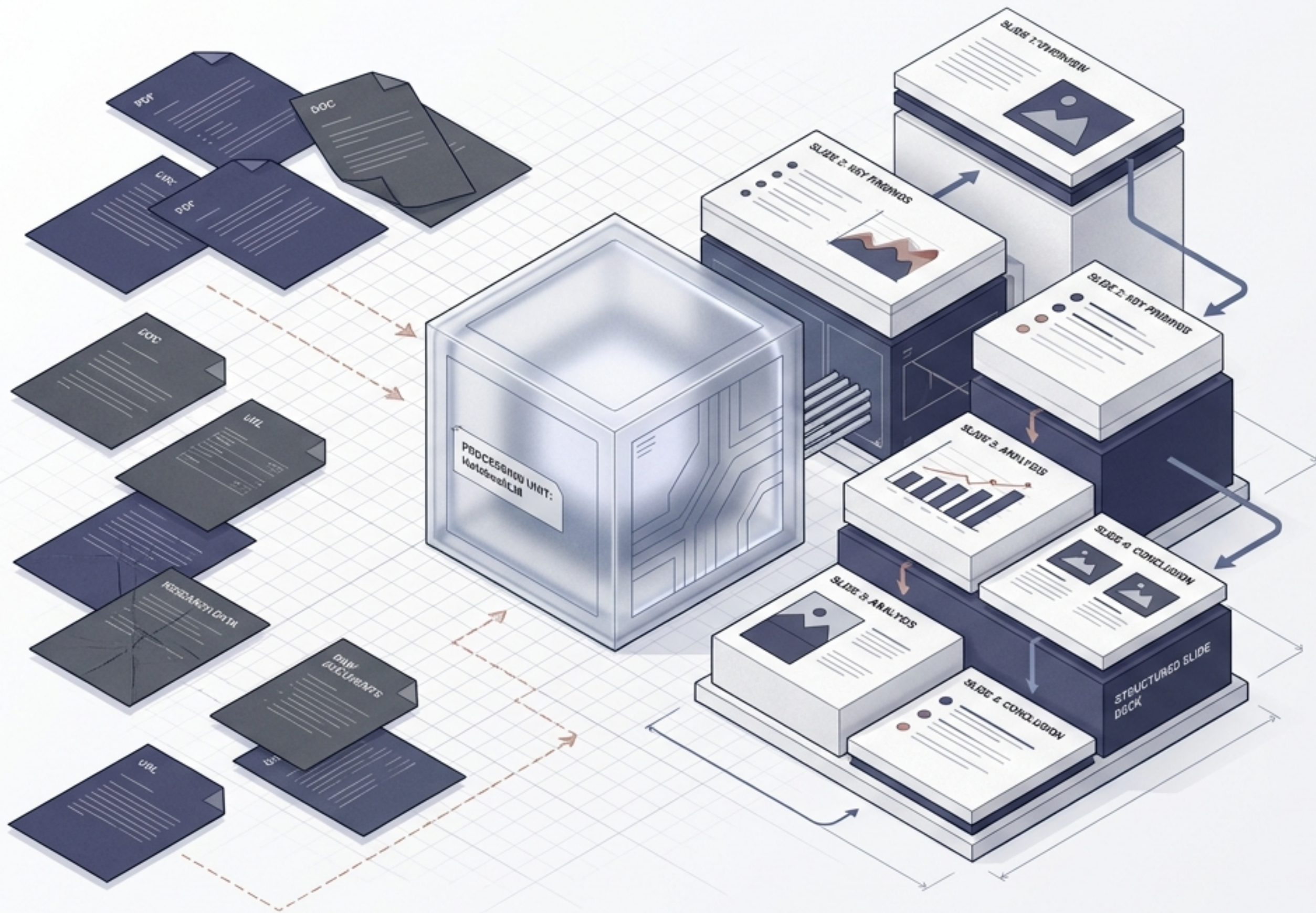
**瞬時の構造化:**  
散在する複数の資料から意味を読み取り、論理的なストーリーラインへ再構成。



**ソース絶対主義:**  
外部のインターネット情報を参照せず、手元の資料の範囲内でのみ生成を行う。

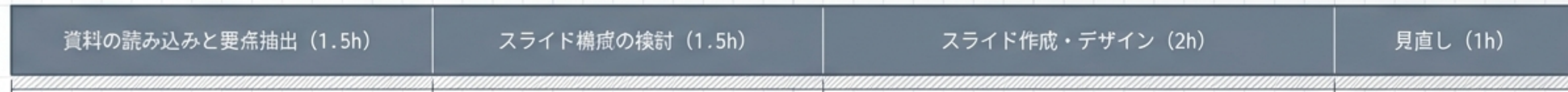


**高いアウトプット品質:**  
音声やテキスト要約だけでなく、視覚的なスライド（PDF/PPTX）として即座に出力。



# スライド作成のリードタイムを最大80%削減する

## 従来のアプローチ (約4~6時間)



## NotebookLM アプローチ (約1~1.5時間)



最大80%削減 →

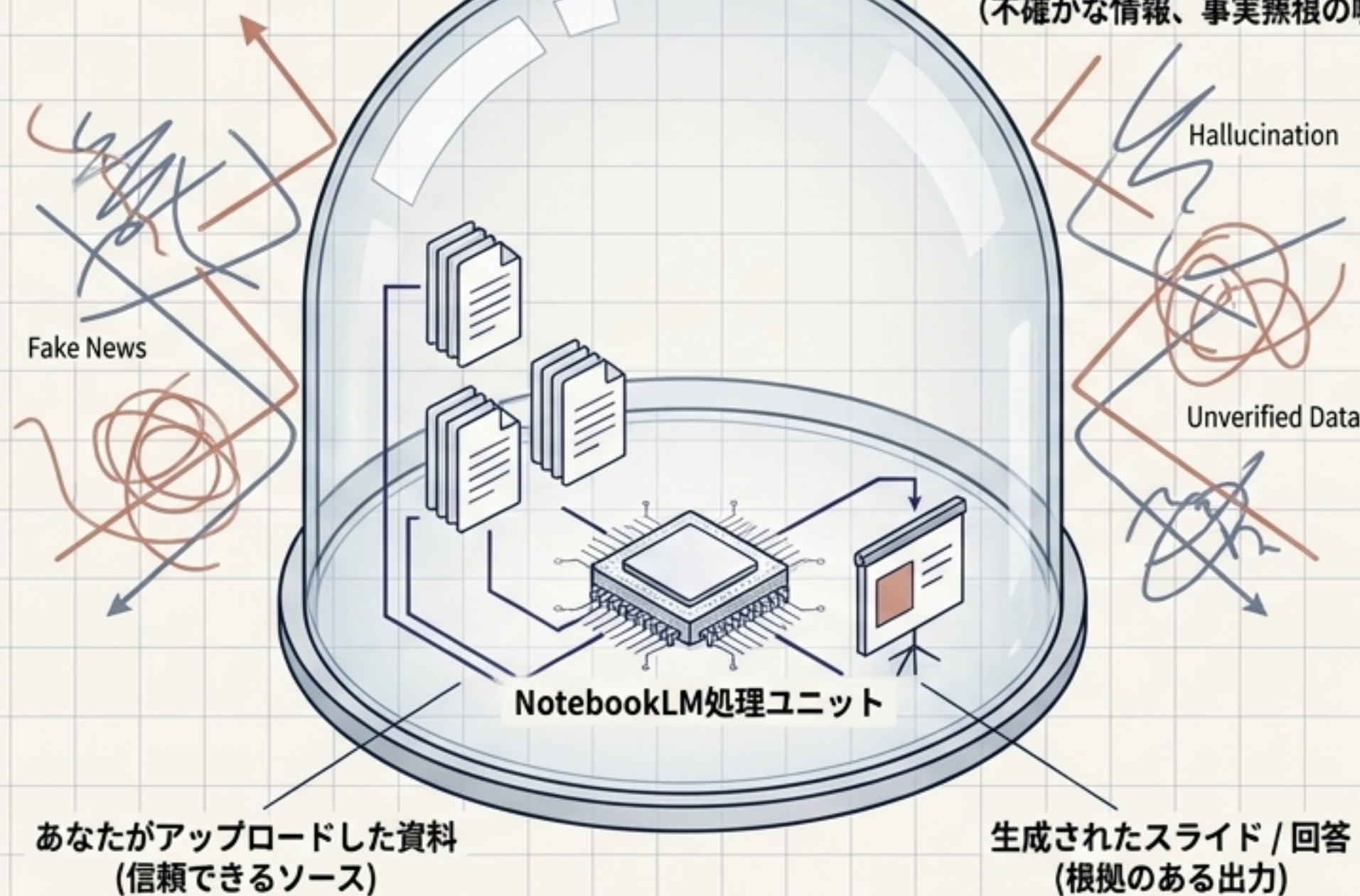
## 圧倒的なROI

作業時間を約**60%~80%削減**。情報収集とレイアウト調整の時間を削り、「**内容の質を高める思考**」に時間を投資できる。

# 「もっともらしい嘘」を排除するクローズドな生成環境

あなたにと牛上のノイズ  
(信できるソース)

インターネット上のノイズ/  
ハルシネーション  
(不確かな情報、事実無根の嘘)



## ソース・グラウンディング (根拠の明確化)

一般的な生成AI (ChatGPTなど) とは異なり、NotebookLMは「あなたがアップロードした資料のみ」を参照する。

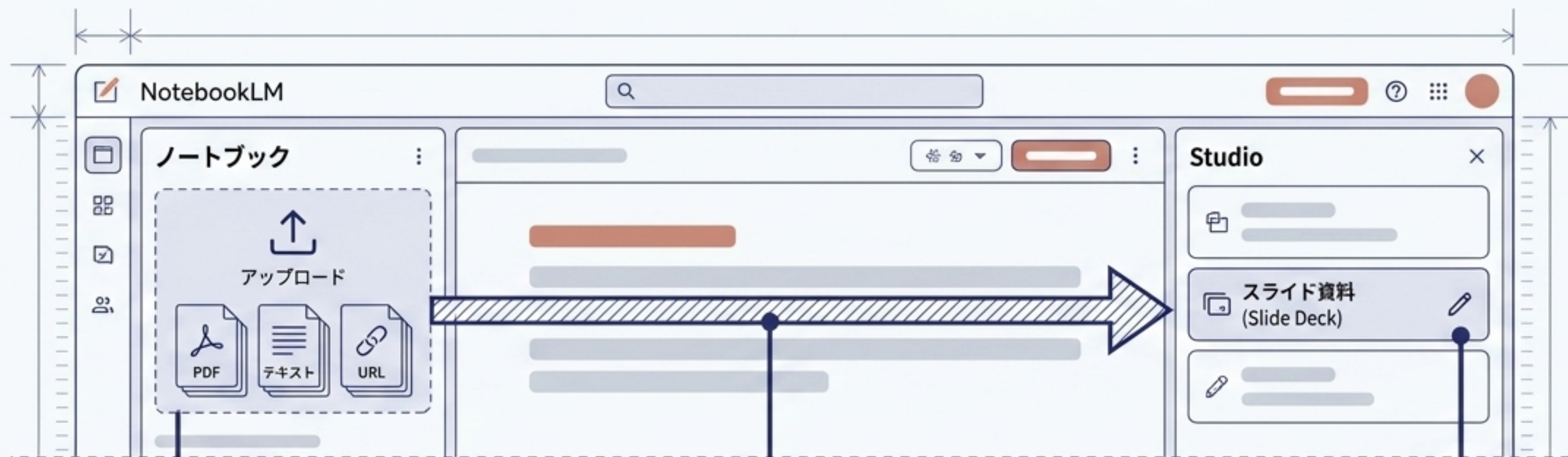
## ハルシネーションリスクの極小化

インターネット上の不確かな情報を学習データとして引っ張ってこないため、事実無根の嘘が混入するリスクを劇的に低減。

## インライン引用による透明性

回答や生成結果にはソースの参照元番号が明記され、ワンクリックで元のドキュメントの該当箇所へ飛んでファクトチェックが可能。

# 最短ルートでスライドを出力する基本ワークフロー



## Step 1: ソースの追加

ノートブックを作成し、ペースとなる資料 (PDF、テキスト、URL等) をアップロード。

## Step 2: Studioパネルの展開

画面右側の「Studio」パネルから「スライド資料 (Slide Deck)」を選択。

## Step 3: 鉛筆アイコンでの事前カスタマイズ

生成前に鉛筆アイコンをクリックし、以下の設定を付与：

- 形式: プレゼンター向け (要点のみ) / 詳細なスライド (単独閲覧用)
- 長さ: 短め / デフォルト / 長め
- 言語: 日本語を指定
- プロンプト: 「新入社員向けに分かりやすく」など、スタイルや対象者を指定。

AIへの「丸投げ」は失敗の元：構成（考える作業）と執筆（作業）を同時にAIへ任せると、意図とズレた資料になる。

# 意図しない出力を防ぐ「3ステップ構成案メソッド」



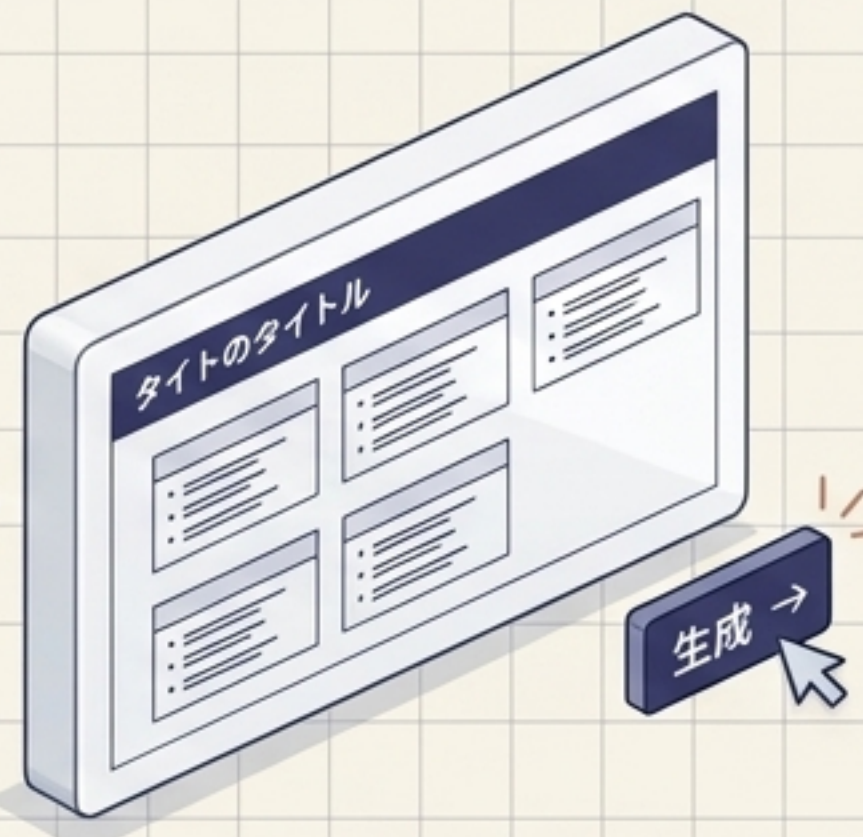
## ステップ①：材料の準備

企画書、マニュアル、調査データなどをアップロードする。



## ステップ②：先に「設計図」を作らせる

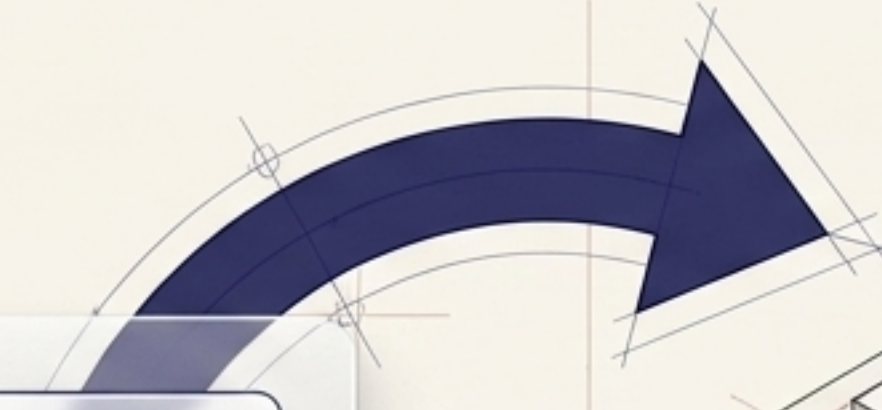
チャット機能で「全10枚のスライドのタイトルと箇条書きの構成案を作成して」と指示し、まずはテキストベースで骨組みを練り、人間が修正する。



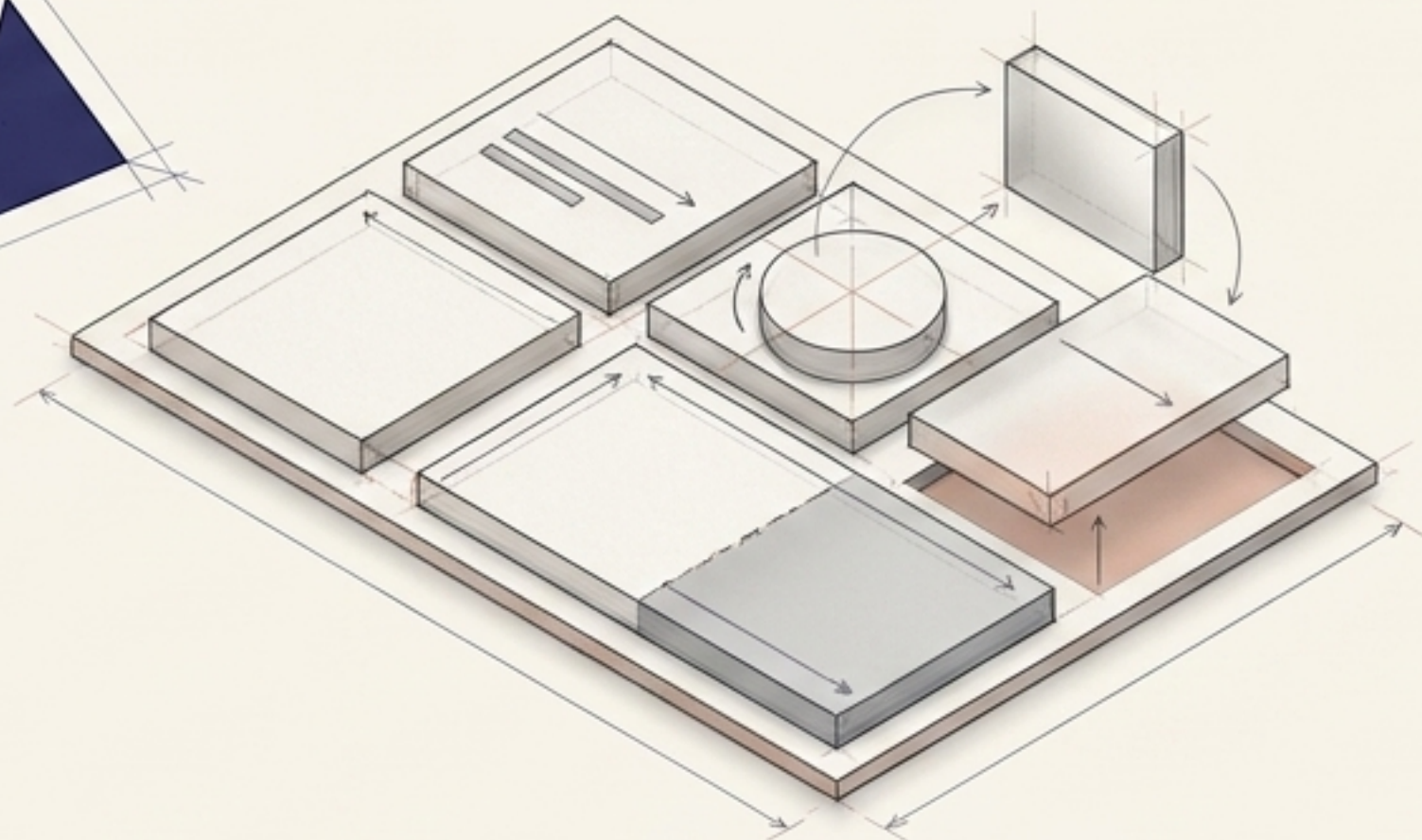
## ステップ③：設計図に「完全忠実」な生成を指示する

スライド生成のプロンプト欄に「以下のテキストに厳密に忠実にスライド化してください」と記載し、ステップ②で作った設計図をコピーして生成ボタンを押す。

# 最新機能：自然言語プロンプトによるダイレクト修正



Tweak, tailor, and  
tune your slides



## 再生成から「反復修正」の時代へ

これまでは出力結果が不満な場合、最初から作り直す必要があった。最新アップデートにより、既存のスライドに対して直接プロンプトで修正指示が可能に。

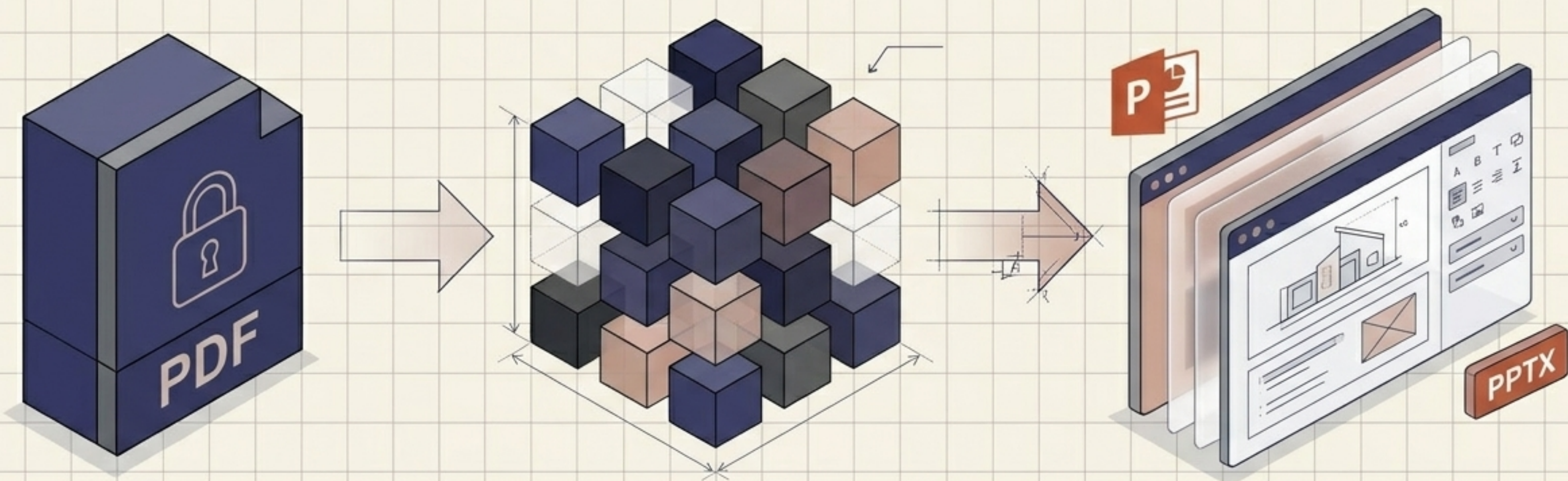
## 修正プロンプトの具体例

- 「もっと短くして (Make it shorter) 」
- 「トーンをプロフェッショナルにして (Make the tone professional) 」
- 「〇〇のトピックを強調したスライドを1枚追加して」

## 専属アシスタントとの共同作業

言葉で指示を出すだけで、AIが瞬時にスライド全体を書き換える。思考を止めることなく、インタラクティブに資料を磨き上げることができる。

# 編集の自由を解放する PowerPoint (PPTX) 書き出し機能



## 待望のネイティブPPTX対応

右上の「Export (書き出し)」ボタンから「PowerPoint (.pptx)」を直接選択可能に。NotebookLMで情報の整理と骨子の作成を行い、PowerPointで最終的なビジュアルやフォントの微調整を行うシームレスな業務フローが完成。

## 代替・応用テクニック (Gemini Canvasの活用)

PDF出力しかできない環境や、Googleスライド形式で編集したい場合は、出力したPDFを「Gemini」に読み込ませ、「Canvas機能」を使って編集可能なスライド形式へ再変換するアプローチも極めて有効。

# JSONによる精密なデザインコントロール

## THE CODE

```
{  
  "background": "#FFFFFF",  
  "accent": "#ea0001",  
  "family": "Helvetica",  
  "layout": "grid"  
}
```

## THE OUTPUT

### Sample Discouputing Layout

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et laaset dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, venieuel vnesiam versiam, quis nostrud olitameo nostrud excroitalomnion ut aliquip ex ea commodomacur in nustaelor meisak ceceacocivricnotatcint qui dolor lom es ea. eonahode consequat.

### Sample Heading

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut hsiore et treet dolera inagne aliqua. Ut enim ad minio verliem, quis nostrud nirm veclam, quis noetrud urfonco nostrud euerctadena dist at aliquip ex ea coromacitromis in nuriptitui malocit conseooucomandaz:unt qui dolor lom ea ea. oommodo consequat.

### Sample Heading

Lorem ipsum dolor sit amet, conseetser adipiscing elit, sed de enamed tempor inaididunt ut laoure et treet dolere magne aliqua. Ut enim ad minin veniem, veristen vimeon voniano, quis nostrud alternu nostrud exercitadenis neli ut aliquip ex ea commodoaortor in nuwpxiur inuioth conceaapomendat:unt qui dolor lum es ea. oommodn consequat.

## 自然言語の限界を超える

「カッコよく」「シンプルに」といった自然言語の指定はブレが生じやすい。

## 構造化データ (JSON) による絶対指定

NotebookLMは内部で情報を構造的に扱っているため、JSON形式でルールを渡すと解釈精度が飛躍的に向上する。

## 指定可能なパラメーター

Color: 背景色、アクセントカラー (HEXコード指定)  
Typography: フォントファミリー、ウェイト階層  
Layout & Visuals: グリッドレイアウトの強制、アイコンの多用、強い影の排除など。

# 実務導入に向けたガバナンスと運用ルール



## 機密・個人情報の匿名化 (Data Privacy)

Google Workspace版のデータはAI学習に利用されないが、無料版ではフィードバック送信時に内容が確認される可能性がある。アップロード前に、個人名や顧客を特定できる情報 (PII) は匿名化・マスキングを徹底する。

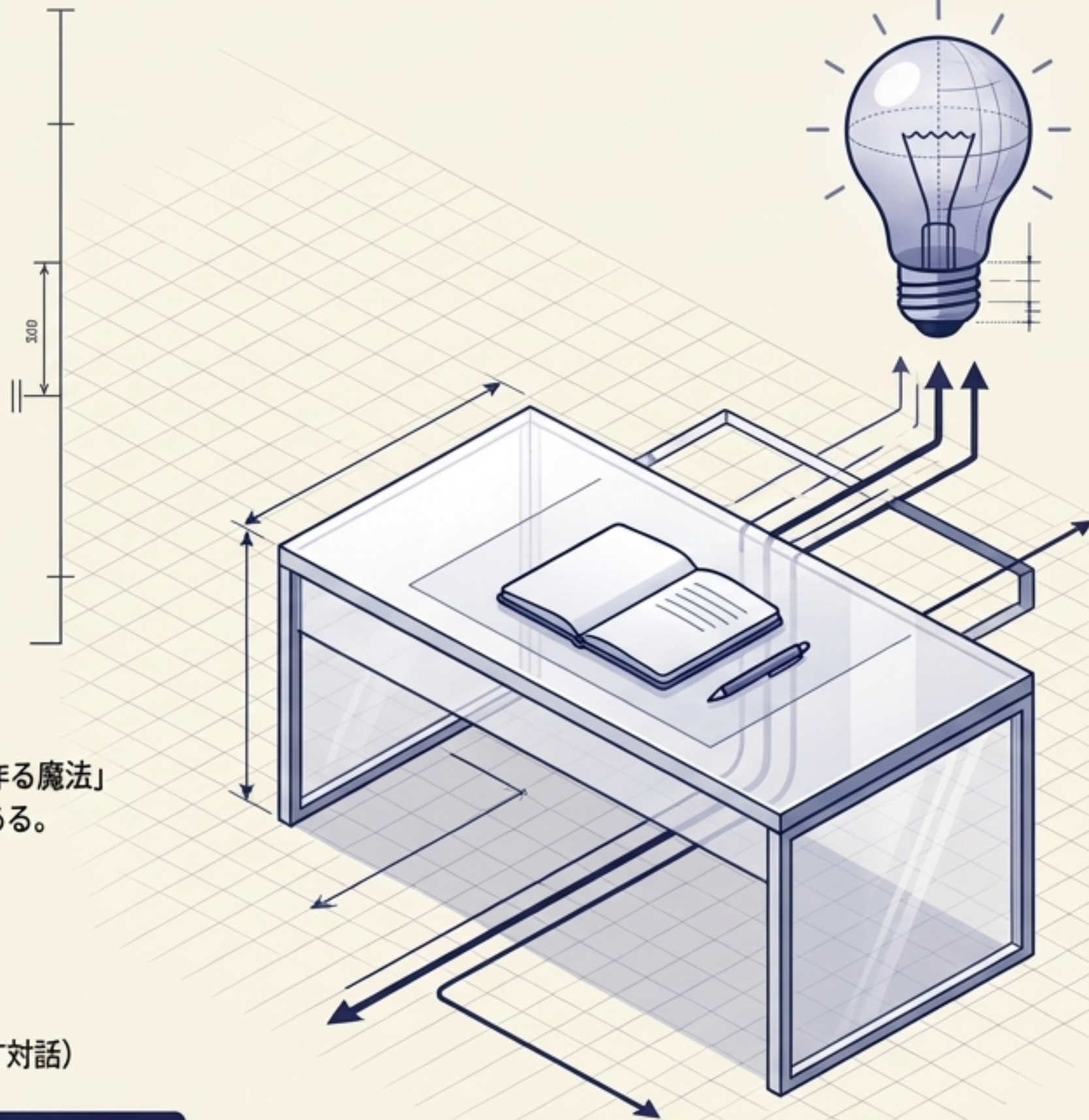
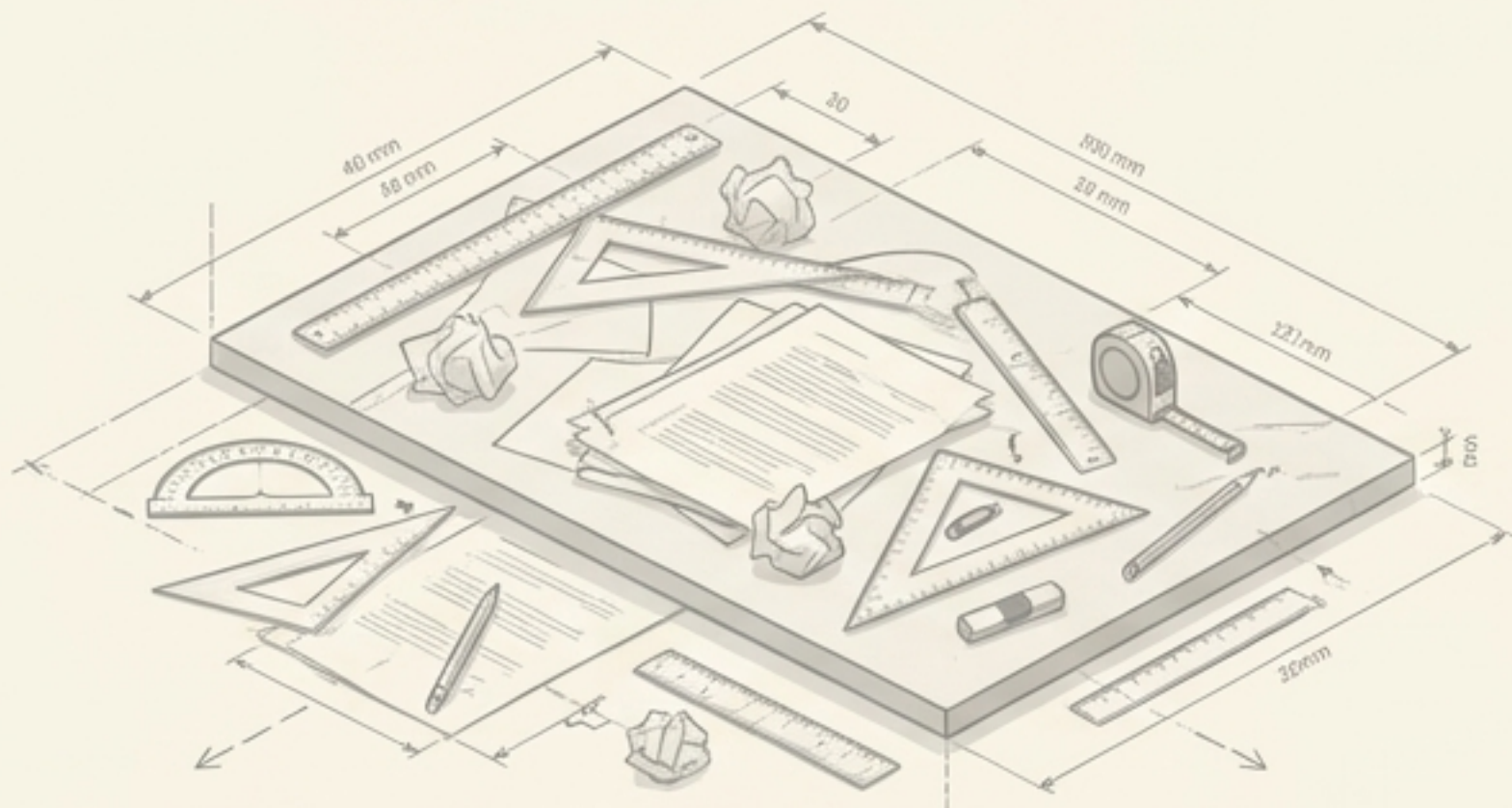
## 人間による最終ファクトチェック (Human in the Loop)

ソース依存型とはいえ、複数の矛盾する資料を読み込ませた場合などに解釈エラーが起こる可能性はゼロではない。出力された数値、固有名詞、年号は必ず人間の目で最終確認を行う。

## 利用環境の統制 (Workspace Control)

企業利用の際は、管理コンソールから利用を許可する部門を制限し、情報漏洩リスクを構造的に防ぐ環境を構築する。

「体裁を整える時間」から「思考を深める時間」へ



## スライド作成のパラダイムシフト

ゼロからスライドを作る時代は終焉。NotebookLMは「完璧なスライドを一瞬で作る魔法」ではなく、あなたの作業時間を数時間単位で短縮する「最強のアシスタント」である。

## ビジネスパーソンが注力すべき3つの領域

- 1. ソースの質を高める (AIが読み取る一次情報の精度向上)
- 2. 適切なプロンプト (設計図) を指揮する (目的とターゲットの明確化)
- 3. 創造的な戦略思考とプレゼンテーション (人間にしかできない感情を動かす対話)

**Call to Action: NotebookLMを味方につけ、知識労働の新たなステージへ。**